

<那覇市作成記入例>

※ 施設関係者記入

平成 ○年 ○月 ○日

病院入院・施設入所中の車いす交付に係る理由書

申請者氏名 那覇 太郎

生年月日 ○○年○月○日

記載者氏名 ○○ ○○

職 種 例)理学療法士

所属機関名 入所・入院中施設名

1、身体状況（既製品で対応できない身体的な状況）

例)○○障害により運動発達遅延(左麻痺)で日常生活は全介助である。
加齢による四肢・体幹の筋力低下、脊柱側弯変形による非対象な姿勢であり、
ベルト等の簡易な補助での対応では本人の身体的負担(同箇所のみへの過度の負担)
が大きくなり長時間の車椅子の使用は困難である。既製品での使用では側弯の進行が懸念される。
体格も平均より大きい。

2、車いす処方内容（既製品との違い、サイズ、個別に必要な機能等）

例)体調不良時は背もたれ角度調整が可能なリクライニング機能が必要。
体格が平均より大きくまた、発作等もあるため既製品では軽く本人の動きにより転倒してしまう。
転倒・転落の危険性があるため、ベルトでの固定が必要となるが、一か所での固定ではなく
負担を分散させるために胸ベルト、腰ベルト、股ベルトが必要。
側弯進行予防として座位保持装置の作製も必要。

3、病院、施設にて貸与の対象となる既製品の車いす使用状況

（既製品使用に際しての問題点）

例)施設にある既製品の車椅子はリクライニング可能ではあるが、本人にとって適応した
角度固定が困難。本人発作時や不意の動きで重量がないため転倒・転落してしまう。
そのため車椅子使用時は施設職員が見守りが必要とならざるを得ない。常時見守りは困難。
対象者の動き(発作)がいつ出るかを見極めるのは困難な状況。

4、退院・退所の見込みの有無と時期

①入院・入所期間 (S) H ○年 ○月 ○日 ～ 現在)

②退院・退所の見込み (有・無)

③退院・退所予定日 (H 年 月 日) (決定・予定)

5、総合意見

①使用頻度（車いすの占有時間等）

例)毎日、起床時から就寝時まで常時使用しており、移動、活動時すべて車椅子が必要。
1日○○時間程度使用。(入浴、排泄、ベッドでの休憩を除く)

②使用することで得られるADLの効果

例)本人に適合した車椅子を使用する事で、安楽な姿勢保持、安全面の確保が可能になり
日常生活でより快適な離床を提供する事が期待される。

③車いすの使用開始時期

例)入所時(○○年)から車椅子使用。

④その他

例)本人に適合した車椅子を使用する事で、二次的な変形の進行予防が期待される。
また、現在から今後の身体状態に合わせた柔軟な対応可能な車椅子を作製し、
ベッドからの快適な離床を促していきたい。

上記理由により身体状況上、病院・施設にて貸与の対象となる車いすでは対応困難であるため
フルオーダーメイドの車いすが必要であります。